

ドクターヘリ 2 機運航に係る検証について

1 これまでの経緯

- 愛知県救急医療協議会において、本県 2 機目となるドクターヘリの導入の是非や導入の時期について協議し、**協議会の意見として「2 機目の導入」及び「当初予定していた機種（BK117）が配備されるまで、当面は Bell429 で運航を開始すること」に賛成**を頂いた。
- 昨年 9 月 19 日に医療審議会 5 事業等推進部会（以下「5 事業等推進部会」という。）に諮り、上記について**承認を得た**。
- 2 機目のドクターヘリは、2024 年 2 月 1 日から運航を開始している。
- 2 機での運航については 1 年程度を試行期間としているが、5 事業等推進部会において、**本格運用に当たっては、有識者による検証が必要との意見が挙げた**。
- なお、運航開始前ではあるが、藤田医科大学病院ドクターヘリは、令和 6 年能登半島地震で被災した石川県を支援するため、被災地に出動し、医師や物資の搬送活動を実施している。

2 検証会委員選出の考え方について

- 県、愛知医科大学病院（以下「愛知医大」という。）、藤田医科大学病院（以下「藤田医大」という。）との間で毎月開催している連絡会議において、検証会の体制と検証項目について話し合ってきた。

構成員	委員選出の考え方
医療機関	<ul style="list-style-type: none">・藤田医大が要請第一順位となる名古屋、海部、知多地域から、それぞれの地区 MC 協議会の会長選出病院に属する医師・小児専門病院として、あいち小児保健医療センターに属する医師・愛知県の救急業務を総括的に俯瞰できる医師・愛知医大、藤田医大以外で、本県のドクターヘリ事業の経験が豊富な医師
消防機関	<ul style="list-style-type: none">・藤田医大が要請第一順位となる名古屋、海部、知多の各地域からそれぞれ選定した消防機関の職員・愛知医大が要請第一順位となる地域の消防機関から、要請実績が多いことから、重複要請も多いことが想定される 2 機関の職員
関係団体	<ul style="list-style-type: none">・愛知県医師会、愛知県病院協会から推薦された医師
近隣県	<ul style="list-style-type: none">・岐阜県、三重県の基地病院の医師

3 検証体制の案

	所属	選定理由
1	愛知医科大学病院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基地病院 ・ 尾張東部 MC
2	藤田医科大学病院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基地病院 ・ 当事者
3	名古屋掖済会病院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の救急業務を総括的に俯瞰できる医師
4	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋市 MC
5	厚生連海南病院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海部 MC
6	半田市立半田病院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知多 MC
7	総合大雄会病院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県のドクターヘリ事業の経験が豊富な医師
8	あいち小児保健医療総合センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児専門病院
9	名古屋消防局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋市 MC
10	海部南部消防組合消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海部 MC
11	知多南部消防組合消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知多 MC（半島先端部及び離島を所管）
12	豊田市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西三河 MC（要請実績が多い）
13	新城市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東三河 MC（要請実績が多い）
14	公益社団法人愛知県医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係団体
15	一般社団法人愛知県病院協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係団体
16	岐阜大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣県基地病院
17	三重大学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣県基地病院

4 検証項目（たたき台）

- 以下の内容を検証項目のたたき台とし、検証会においてあらためて項目や検証手法について検討した後、2機運航体制における課題と対応等について検証する。
- 追加で2機運航体制に係る課題があれば、適宜検証項目として話し合いを行うこととする。

項目	検証内容の例
出動件数及び 不応需案件への対応	<ul style="list-style-type: none">・ 全体の出動件数は、前年同時期と比較してどのようか。・ 前年同時期と比較して、不応需案件（他事案出動中や機体不具合等）はどのようか。
ドクターデリバリー	<ul style="list-style-type: none">・ ドクターデリバリーの活用状況はどのようか。
医療機器を装着した患者、 小児の患者搬送の実績	<ul style="list-style-type: none">・ 何件実施したか。
エリア分け	<ul style="list-style-type: none">・ ドクターヘリ要請の際に消防機関の混乱が生じたか。・ 要請時の状況、要請のボトルネックとなっていること。
隣県への応援	<ul style="list-style-type: none">・ 隣県からの応援要請に対して何件応需したか。・ 前年同時期に比べてどの程度応需したか。
重症度について	<ul style="list-style-type: none">・ 搬送された割合は、軽症、中等症、重症とでどのようか。

5 愛知県救急医療協議会での意見

- 愛知県救急医療協議会において、上記、「3 検証体制の案」及び「4 検証項目（たたき台）」について、反対意見は無かった。